



空飛ぶクルマの運航実現に向けた 事業性評価・検証

～みんなで成功させよう！ 空飛ぶクルマの世界 in 関西エリア～



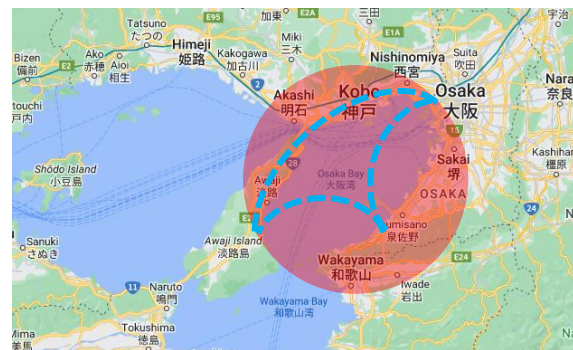
令和6年3月21日 **Marubeni**

ビジネスモデル

関西エリアにおける空飛ぶクルマを活用した運航サービスの実現



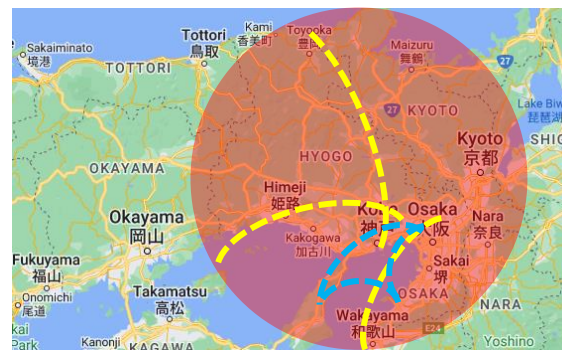
日常交通の1つとしての
新たな空の移動サービス
の実現



2027年

主要空港近郊/湾岸部

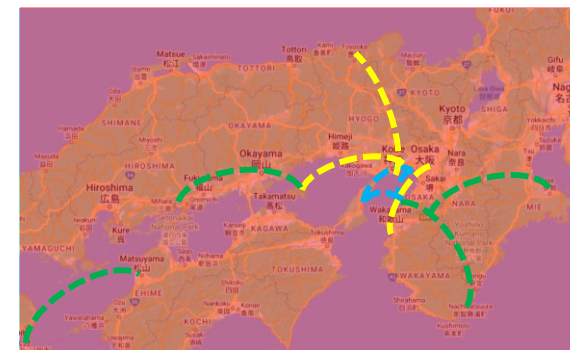
観光



2030年まで

市街地に拡大

観光



2030年以降

関西圏内外に拡大

観光/生活

本補助事業の目的

上記ビジネスモデルの実現に必要な「候補ルート毎の事業性検証」及び「関係事業者との連携強化」を行うため、本補助事業を実施する

補助事業のゴール

運航サービス開始に不可欠な要素の検証を踏まえ、事業性のあるルートを見極める

補助事業概要

(1)関西エリアにおける需要分析

当社が運航サービスを検討している運航ルートについて、需要調査を実施し事業性が見込まれるルートを複数選出する

⇒有望ルートは約30ルート!

(2)候補ルート毎の運航条件調査

(1)で選出した候補ルートについて、フライトプランの策定、運航拠点の気象データの分析を実施する

⇒実運航距離と就航率を把握!

(3)候補ルート毎の最適な充電・バッテリー管理方法に関する検証

(1)(2)を踏まえ、運航コストの最適化を目的に、最適な充電方法とバッテリーの管理方法、および、インフラ設備を調査検証する

⇒最適な充電パターンの絞り込み!

事業計画精査

精査中

運航便数

ルートの選定

収益性

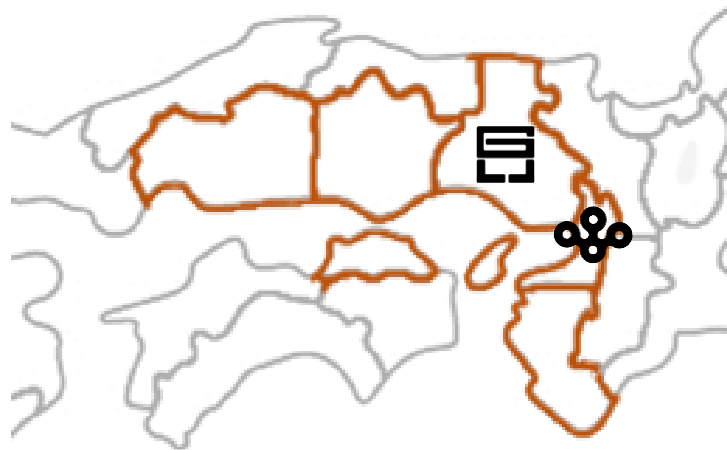
2.実施する補助事業内容

(1)関西エリアにおける需要分析

検証調査(2)

検証調査(3)

①36エリア選出(各府県6エリア)



【ポイント】

- ✓ 滞在人口
- ✓ 観光魅力度
- ✓ 交通利便性

②30ルート選出(離発着地のいずれかを兵庫県or大阪府とする)



【ポイント】

- ✓ 既存移動者数
- ✓ 属性(年収、居住地等)
- ✓ 眺望付加価値
- ✓ 移動時間短縮率

+ アンケート調査

- 目的: ルート毎の利用者の傾向を分析
- 方法: 有望30ルートを距離別にグループ分けし、それぞれ調査を実施
- 対象: 対象6府県に加えて東京都・愛知県に住む計3千人
- 内容: 属性、利用したいルート、ルート毎の利用目的・選定理由・受容価格等

2.実施する補助事業内容

検証調査(1)

(2) 候補ルート毎の運航条件調査

検証調査(3)

①直線距離 vs実運航距離

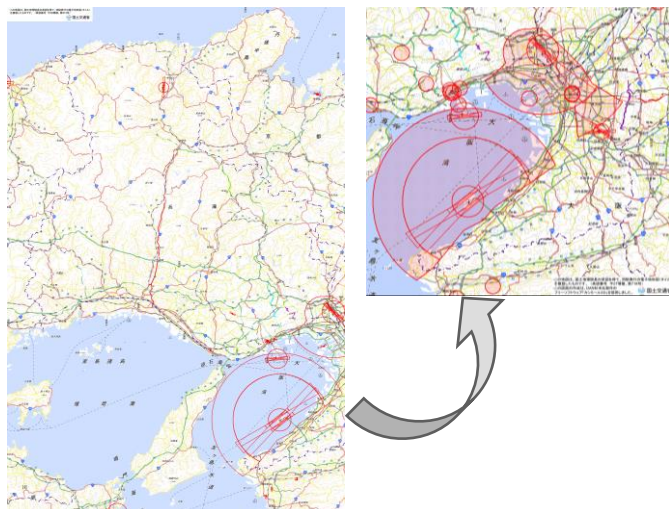
【ルート例】

直線距離：約35km

実運航距離：約50km

迂回要因：管制圏・特別管制区

(国土交通省HPより)



②想定就航率

【ルート例】

就航率：94.16%

時間帯別平均：

朝(06-09時) 89.7%

午前(09-12時) 96.1%

昼(12-15時) 95.2%

夕方(15-18時) 95.7%

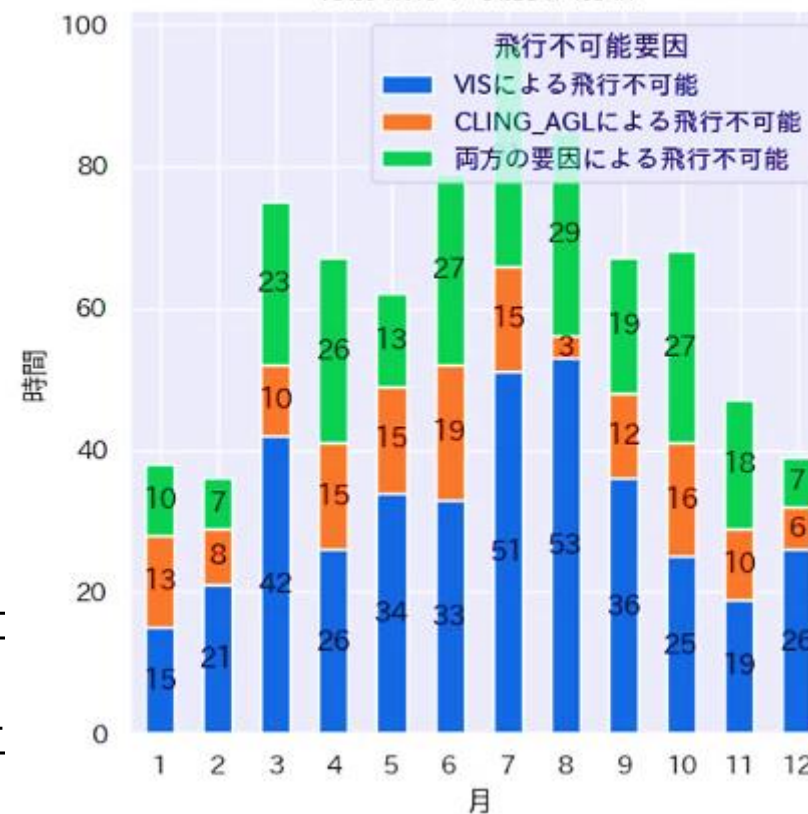
就航判断基準：

地上視程(VIS)⇒5,000m以上

雲底高度(CLING_AGL)

⇒対地高度1,000ft以上

月別 飛行不可能要因分析



2.実施する補助事業内容

検証調査(1)

検証調査(2)

(3) 候補ルート毎の最適な充電・バッテリー管理方法に関する検証

①

● 実運航距離に基づく消費電力量

②

● 必要充電量に基づく充電時間

③

● 充電量・時間に基づく充電料金

④

● 地上充電設備の考察・検証



充電料金

= 基本料金 + 電力量料金

= 単価×契約電力量×力率割引 + 単価×消費電力量

	80kWh	200kWh
充電時間	長	短
バッテリー交換頻度	少	多



企業広告

「できないことは、みんなでやろう。」

できないことは、みんなでやろう。
逃げ出さずに。投げ出さずに。
できないことは、みんなでやろう。
道は一つじゃない。答えは一つじゃない。
できないことは、みんなでやろう。
あなたが望むことを。世界が望むことを。
できないことは、みんなでやろう。
未来を生きる人のために。いまを生きる人のために。
人類がいま向き合うべき大きな課題。
それは「ネイチャーポジティブな社会の実現」です。
丸紅はそのために、
グリーン事業の強化と、
すべての事業のグリーン化に取り組んでいます。
課題から逃げずに、本質を見逃さずに、
競争ではなく、共創していく。
できないことは、みんなでやろう。
困っている人がいたら助け、
誰もやらないことをやり、
迷ったらおもしろい方へ。
丸紅の挑戦は続きます。

できないことは、
みんなでやろう。
Marubeni



**ご清聴
ありがとう
ございました。**